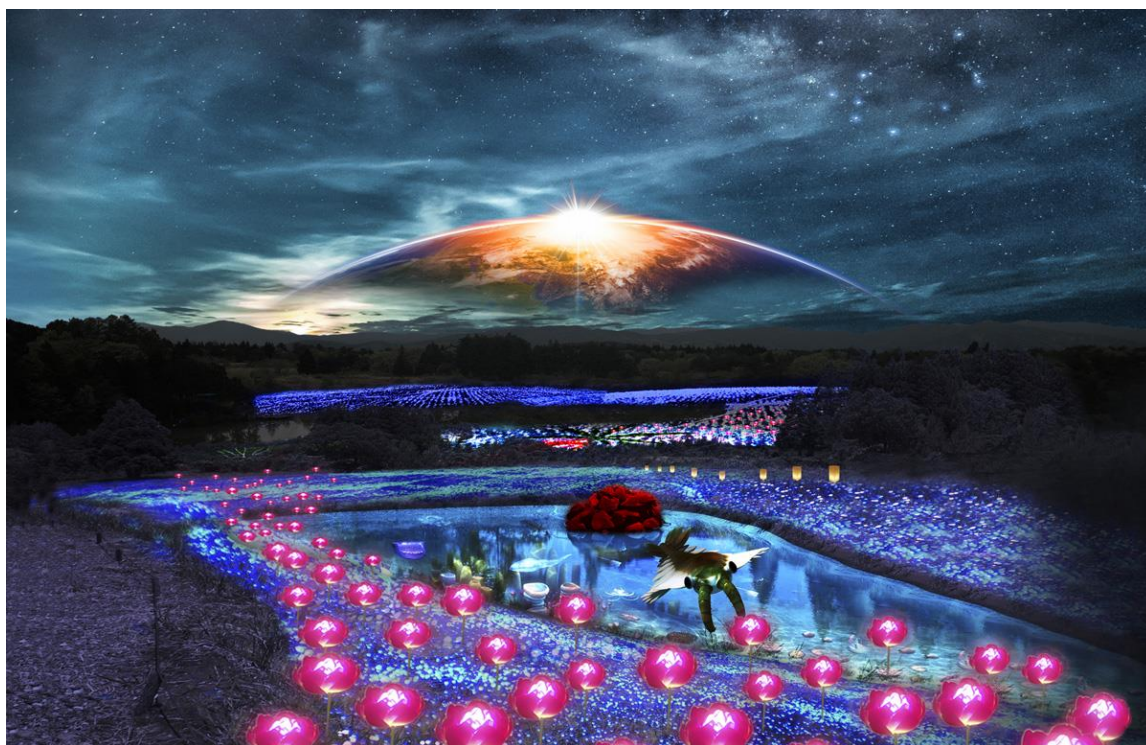


2018年4月26日

東急不動産株式会社
勝山高原開発株式会社
株式会社東急リゾートサービス

恐竜をテーマにした北陸最大級のイルミネーションが福井県・勝山に誕生 「ジオ・イルミネーション」 ～2018年7月14日（土）実施予定～

東急不動産株式会社（本社：東京都港区、社長：大隈 郁仁）は、グループ会社である勝山高原開発株式会社（本社：福井県勝山市、社長：速川 智行）が経営し、株式会社東急リゾートサービス（本社：東京都港区、社長：熊沢 基好）が運営するスキー場「スキージャム勝山（福井県勝山市）」の事業区域内にて、恐竜をテーマにした北陸最大級のイルミネーション「ジオ・イルミネーション」を2018年7月14日（土）から実施予定であることをお知らせいたします。



完成予想イメージ

■ コンセプトは「太古と恐竜の世界」

「ジオ・イルミネーション」は福井らしさ・勝山らしさを代表するキーワード「太古と恐竜の世界」をコンセプトとし、地球が誕生した46億年前の時代から、植物や動物が生まれた時代、恐竜が生息していたと呼ばれる中生代までを新しい光の演出技術を用いて表現します。本イルミネーションでは1周約1.9kmの中に約60万球の電球が用いられ、地質年代に基づきA～Fの6つのエリアに分けてテーマ設定をし、それぞれの時代で繁栄した恐竜や植物等の生命をご覧いただけます。





完成予想イメージ：エリアA



完成予想イメージ：エリアB



完成予想イメージ：エリアC



完成予想イメージ：エリアD



完成予想イメージ：エリアE



完成予想イメージ：エリアF

(各エリアテーマ)

エリアA	球型入口ドームを通りタイムスリップ。ミラーボールを使用した宇宙空間を表現した樹木の煌き。
エリアB	海中世界を彩る様々な植物の立体的な演出で、先カンブリア時代を鮮やかに演出。
エリアC	映像マッピングを中心に、魚類たちが反映した時代をインタラクティブに演出。
エリアD	シダ系植物のイルミネーションを施し、共に成長したといわれる両生類のオブジェで古生代を表現。
エリアE	蓮とイルミネーションで彩られる絶景ポイント。傾斜地には「光の化石」が地層に埋まる。
エリアF	大自然の中に広がるイルミネーションで描かれた恐竜の地上絵が生命の壮大な物語のラストシーン

■ 演出は日本唯一無比の夜景評論家である丸々もとお氏がプロデュース

演出は東京スカイツリー（東京都墨田区）、ハウステンボス光のチューリップガーデン（長崎県佐世保市）、アパリゾート上越妙高（新潟県妙高市）などをプロデュースした夜景プロデューサーの丸々もとお氏が行き、世界でも珍しい恐竜のイルミネーションを展開します。

【丸々もとお氏がプロデュースした作品の例】



東京スカイツリー
（東京都墨田区）



アパリゾート上越妙高
（新潟県妙高市）



ハウステンボス
光のチューリップガーデン
（長崎県佐世保市）



■ グリーンシーズンを活用したスキージャム勝山のとりくみ

スキージャム勝山は福井県立恐竜博物館まで車で約10分、中部縦貫自動車道勝山I.Cから車で約20分に位置し、リゾートホテルなどの宿泊施設も併設しており観光拠点にも適しております。冬は白山連峰に包まれた西日本最大級のゲレンデとして、国内からはもちろんのこと海外からのスキー客も訪れるなど、日本を代表するスキー場の1つになっております。最近では冬だけでなく通年型のリゾート地としても人気があり、グリーンシーズンではセグウェイ体験や標高1,000mの高原ならではのパラグライダー、ゲレンデを利用した芝そり、恐竜をテーマにした子ども向けのパーク「わんぱく恐竜ランド」など、家族連れでも楽しめる高原リゾートになっております。



セグウェイ体験



わんぱく恐竜ランド



パラグライダー

施設概要

名称	ジオ・イルミネーション (GEO ILLUMINATION)		
規模	電球数 LED電球 および ミラーボール・オブジェ等 約60万球		
敷地面積	26,100㎡		
営業期間	2018年7月14日(土)～10月28日(日)		
営業時間	7月14日(土)～9月14日(金)	18:30～22:00 (21:15最終入場)	
	9月15日(土)～10月28日(日)	17:30～21:00 (20:15最終入場)	
入場料	大人 1,000円	小学生 500円	未就学児 無料

アクセス

スキージャムへは大阪から約3時間
名古屋から約2時間のスムーズアクセス!!

中部縦貫自動車道「勝山IC」より約13.5km(約20分)

